

1 調査名称：柏市総合交通計画

2 調査主体：柏市

3 調査圏域：柏市全域

4 調査期間：平成20年度～平成21年度

5 調査概要：

今日、高齢社会の到来や環境問題意識の高まりなど、社会情勢は大きく変化している。都市交通を取り巻く環境としても、多様な市民ニーズへの対応はもちろんのこと、高齢社会を踏まえた交通体系のあり方や環境負荷の軽減など、将来に向けた新たな課題への対応も求められている。

こうした状況を踏まえて、柏市では、現状の交通体系の課題を明らかにし、今後の交通のあり方についての基本方針を明らかにするとともに、課題解決に具体的に取り組むための総合的な指針となる「柏市総合交通計画」を策定した。

I 調査概要

1 調査名

柏市総合交通計画

2 報告書目次

1. 計画の目的と構成

- 1－1 計画の背景と目的
- 1－2 目標年次
- 1－3 計画の構成概要

2. 柏市の交通現況

- 2－1 都市特性
- 2－2 交通の現況
- 2－3 上位・関連計画

3. 市民アンケート調査結果概要

4. 交通課題

- 4－1 現況特性からみた課題
- 4－2 社会的動向からみた課題
- 4－3 市民ニーズ（アンケート調査）からの課題
- 4－4 交通課題のまとめ

5. 総合交通計画の理念と目標

6. 計画の基本方針

7. 具体的取り組み施策

- 7－1 交通ネットワーク形成の考え方
- 7－2 重点的取り組み施策
- 7－3 スケジュールの考え方
- 7－4 主な取り組み施策

8. 地域別の交通施策(施策パッケージ)

- 8－1 地域の設定
- 8－2 地域別の交通施策

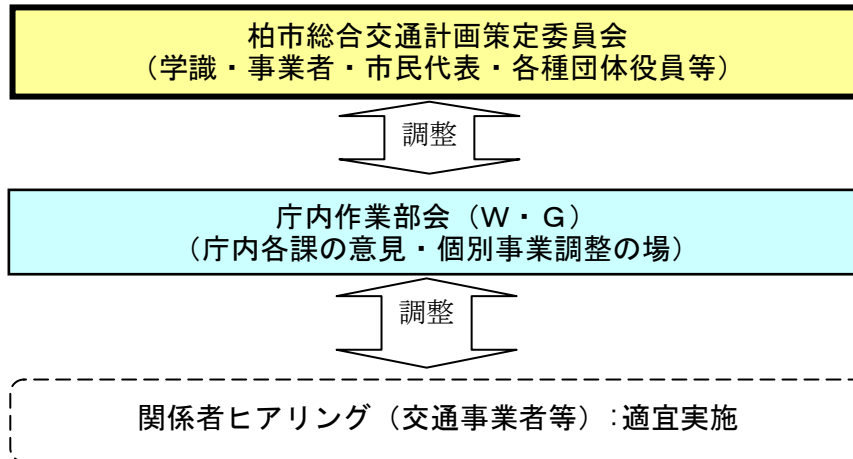
9. 実現化への取り組み

参考資料

用語説明

3 調査体制

- ◇ 学識経験者、交通事業者、市民代表、各種団体等で構成する『策定委員会』を設置
- ◇ 検討委員会の下部組織として、庁内関連部局の担当で構成する『庁内作業部会（W・G）』を組織



4 委員会名簿等：

(1) 総合交通計画策定委員会名簿

()は前任者

| No. | 氏名 | 職名等 | 委員名 |
|-----|--------------------|--|--------|
| 1 | 藤井 敬宏 | 日本大学 理工学部 社会交通学科教授 | 学識経験者 |
| 2 | 谷口 綾子 | 筑波大学大学院 システム情報工学研究科講師 | 〃 |
| 3 | 植松 繁 (小林 雄一) | 東日本旅客鉄道株式会社東京支社 総務部 企画室 企画調整課長 | 交通事業者 |
| 4 | 山中 孝一 | 東武バスイースト株式会社 運輸統括部 副部長 | 〃 |
| 5 | 片岡 膳一 | 柏地区タクシー協会会長 | 〃 |
| 6 | 池上 忠雄 | 日本路線トラック連盟 関東甲信越地区連盟 事務局長 | 運輸事業者 |
| 7 | 星野 正一 | 中央町 | 市民 |
| 8 | 佐名木 崇夫 | 大津ヶ丘 | 〃 |
| 9 | 佐々木 栄斗 | 篠籠田 | 〃 |
| 10 | 三枝 伸子 | 戸張 | 〃 |
| 11 | 上田 俊郎 | 柏商工会議所 専務理事 | 商工業代表 |
| 12 | 佐藤 明弘 | 千葉県サイクリング協会 理事長 | 自転車関連 |
| 13 | 畠山 裕子 | 社団法人柏青年会議所 総務・夢計画委員会 副委員長 | その他団体 |
| 14 | 亀岡 浩美 | ストリート・ブレイカーズ 新規イベント開発部会長 | 〃 |
| 15 | 葉岡部 循一 (佐々木 浩一) | 千葉県総合企画部交通計画課 交通企画室 主幹(兼)室長 (同交通企画室長) | 関係行政機関 |
| 16 | 高山 隆 (地曳 安博) | 千葉県柏警察署 交通課長 | 〃 |

柏市総合交通計画策定委員会オブザーバー名簿

| | 氏名 | 職名等 | 委員名 |
|---|------------------|---------------------------|-------|
| 1 | 羽生 峰夫 (栗原 利夫) | 東武鉄道株式会社 鉄道事業本部 計画管理部課長 | 鉄道事業者 |
| 2 | 齋藤 賢 | 首都圏新都市鉄道株式会社 経営企画部 推進役 | 〃 |
| 3 | 川崎 直仁 | 阪東自動車株式会社 我孫子営業所 所長 | バス事業者 |
| 4 | 瀬戸 雅一 | ちばレインボーバス株式会社 営業部営業課 営業部長 | 〃 |

(2) 庁内作業部会（ワーキンググループ）名簿

() は前任者

| No. | 所 属 | 職 員 | 備 考 |
|-----|--------------------|-----------------|------------|
| 1 | 総務部 防災安全課 | 中村主査 | |
| 2 | 企画部 企画調整課 | 斉藤副主幹 | |
| 3 | 保健福祉部 保健福祉総務課 | 梅澤主査 | |
| 4 | 環境部 環境保全課 | 上田主事 (中山副参事) | |
| 5 | まちづくり事業本部 まちづくり企画課 | 平野副主幹 | |
| 6 | 経済産業部 商工振興課 | 小島主任 (森主査) | 20年度は商工課 |
| 7 | | | 20年度は産業振興課 |
| 8 | 都市計画部 都市計画課 | 関口主任 | |
| 9 | 〃 北部整備課 | 原主査 | |
| 10 | 都市緑政部 公園緑政課 | 細江主事補 | |
| 11 | 〃 区画整理課 | 有泉主査 | |
| 12 | 〃 再開発課 | 田村副主幹 | |
| 13 | 土木部 道路維持管理課 | 地引主事補 | |
| 14 | 〃 交通施設課 | 橋場主事補 (田村主任) | |
| 15 | 〃 道路整備課 | 林主査 | |
| 16 | 【事務局】交通政策課 | 佐藤主幹 | 20年度は交通政策室 |
| 17 | 〃 | 佐々木主査 | 〃 |

II 調査成果

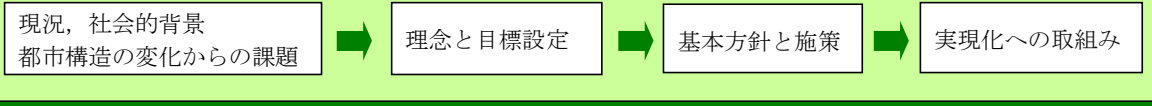
1 調査目的

1. 計画策定の目的とは

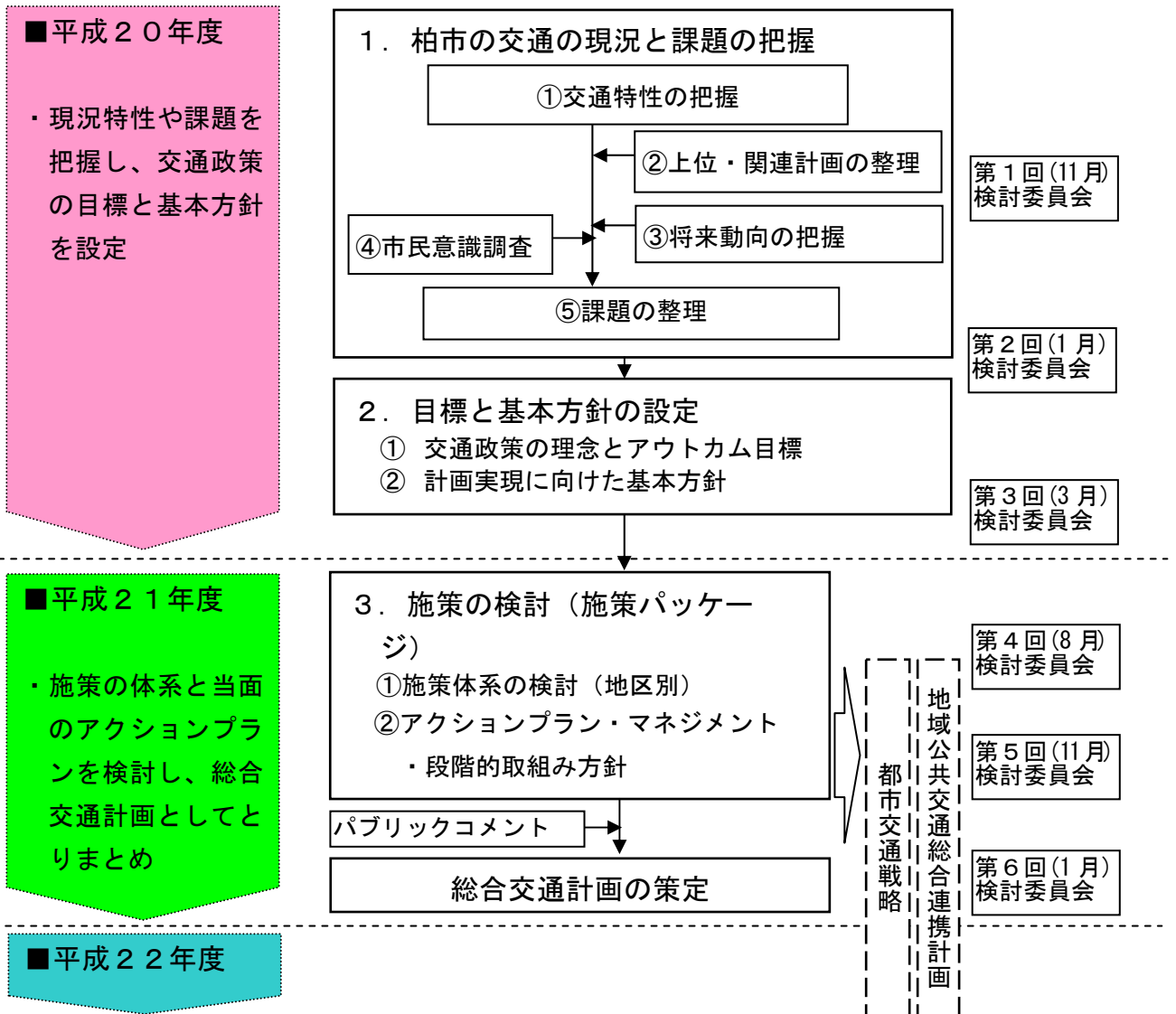
これまで取り組んできた交通課題や政策を振り返りながら、高齢者をはじめとした多様な交通ニーズの対応や地球環境への配慮など、社会情勢の変化を踏まえた総合的な視点から市民のための将来の望ましい交通計画を策定します。

柏市第四次総合計画、柏市都市計画マスタープラン等の上位計画や柏市地球温暖化対策計画等を踏まえ、交通政策に関する実効性ある計画を策定します。

計画期間は、平成22～31年度です。



2 調査フロー



4 調査成果

柏市総合交通計画について

1. 計画策定の目的とは

これまで取り組んできた交通課題や政策を振り返りながら、高齢者をはじめとした多様な交通ニーズの対応や地球環境への配慮など、社会情勢の変化を踏まえた総合的な視点から市民のための将来の望ましい交通計画を策定します。

柏市第四次総合計画、柏市都市計画マスタープラン等の上位計画や柏市地球温暖化対策計画等を踏まえ、交通政策に関する実効性ある計画を策定します。

計画期間は、平成22～31年度です。

現況，社会的背景
都市構造の変化からの課題

理念と目標設定

基本方針と施策

実現化への取組み

2. 交通の現況とは

【社会的背景】

- ・ 少子高齢化の進展・環境問題への対応が強く求められています。
- ・ 北部地域の開発，合併等から，北部地域，柏駅周辺地域及び沼南地域の連携強化が必要です。
- ・ 広域連携拠点として発展，中心市街地の活力を維持する必要があります。

【都市構造の変化】

- ・ 柏の葉キャンパス駅周辺における新たな都心形成
- ・ 北部地域における国際学術研究都市「柏の葉国際キャンパスタウン構想」
- ・ 市町との合併

【柏市の交通現況】

- ・ 公共交通利用の減少傾向
- ・ 市営駐輪場登録利用者の減少傾向
- ・ 柏駅，柏の葉キャンパス駅のレンタサイクル実施
- ・ 鉄道駅へのアクセスは，徒歩・自転車が主体，次いで路線バス利用
- ・ 柏駅周辺は，商業拠点として活力を維持
- ・ 郊外型店舗の進出，宅地開発に伴い，自動車交通量が増加。道路混雑が懸念
- ・ 北部・南部地域では都市的土地利用が進展，市街地が拡大傾向
- ・ 都市計画道路整備状況は低水準

【市民ニーズ】

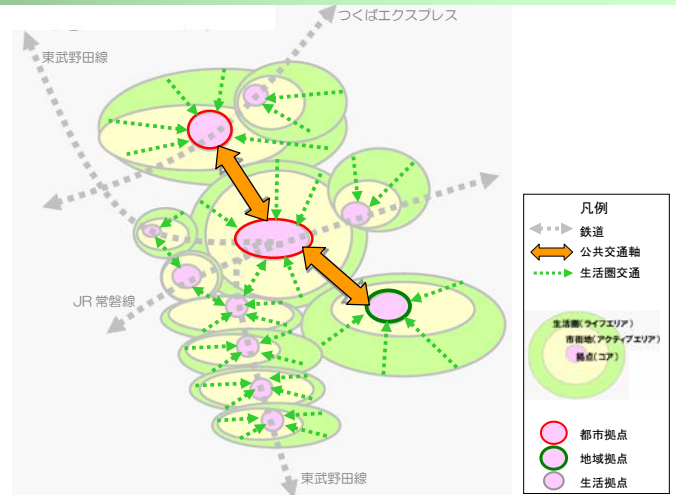
- ・ 交通結節点での，乗り継ぎ利便性の向上，自転車利用環境の向上。
- ・ 環境や健康づくりのため，自転車を活用しやすいよう，自転車専用レーンの整備などの走行環境の改善。
- ・ 市内どこへでも移動できるよう，路線バスやコミュニティバスの運行の充実。

3. 解決すべき課題とは

- ① 都市構造の変化に対応した交通体系の確保
- ② 交通結節点へのアクセス・サービス水準の向上
- ③ 公共交通の社会的役割の向上
- ④ 既存ストックを活用した効率的な都市交通体系の確立
- ⑤ 中心市街地の安全で円滑な交通環境の改善

4. 計画の理念と目標

《まちづくりの理念と目標》
理念：『環境想造都市 柏』
目標①：コンパクトな都市
目標②：持続可能な都市
目標③：活力あるまち
(都市計画マスタープランより)



《総合交通計画の理念》

環境想造都市づくりを支え、豊かな暮らし、多様な交流を実現する交通

【目標】

【目標1】

■環境・ひとにやさしい交通

・地球温暖化への対策や少子高齢化に対応するため、低炭素かつユニバーサルな都市づくりに向けて、交通が担う役割をしっかりと果たします。

【目標2】

■豊かな暮らしを支え安全で安心な交通

・多様化する市民ニーズや活発な市民活動を支えるため、誰もがどこへでも安全・安心に移動できる交通環境を整えます。

【目標3】

■まちの魅力を高め交流を促進する交通

・中心市街地の活性化や国際学術研究都市づくりの推進、さらに地域の特色ある自然や文化などとの交流を促進するため、多角的な交通ネットワークを構築します。

【目標4】

■市民等の協働により支え合う交通

・持続可能な交通体系を実現するため、市民、交通関係者の協働・連携による多様な主体が参加する体制をつくります。

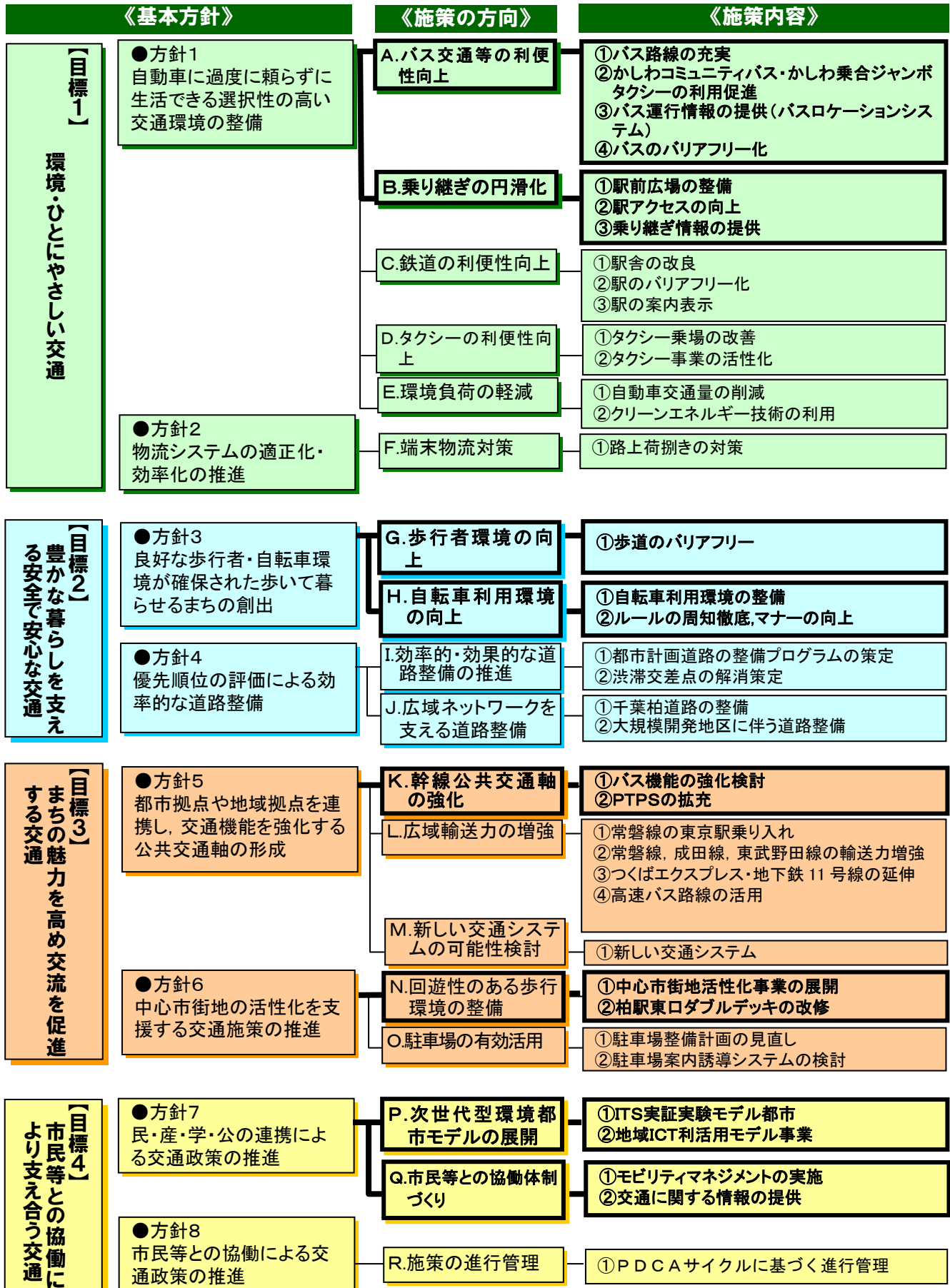
■交通政策に求められる重要課題

- 過度な自動車利用の抑制
- 公共交通の活性化
- 歩行者・自転車環境の向上
- 柏の葉キャンパスタウンでの先導的施策の促進
- 持続可能な取り組み等

■重点的取組み施策

- 公共交通等の充実
- 歩行者自転車環境の向上
- 幹線公共交通軸の強化
- 回遊性のある歩行者環境
- 先進的な取り組みと協働体制

5. 基本方針と施策体系



重点的取り組み施策

交通ネットワークイメージ図

●北部地域
 柏の葉キャンパス駅を中心とした次世代型環境都市づくりに向けた新しい交通施策の展開

●中央地域
 柏駅を中心とし、活力と魅力あるまちづくりと連携した協働による交通施策の展開

●南部2地域
 地域拠点と中心市街地を有機的に連絡する公共交通軸の強化と、良好な住環境や活力ある地域拠点形成に資する交通施策の展開

●南部1地域
 各生活拠点を中心とした良好な市街地形成のための道路整備や公共交通の利用促進等身近な交通施策の展開



凡例

| | | | |
|--|--------|--|---------------|
| | 都市拠点 | | 高速道路 |
| | 地域拠点 | | 公共交通軸 |
| | | | バス交通網重点整備地区 |
| | 鉄道・駅 | | 千葉柏道路（構想） |
| | 広域幹線道路 | | 地下鉄11号線延伸（検討） |
| | 柏環状道路 | | |
| | その他の道路 | | |